

技術・家庭

(家庭分野)

(14) 技術・家庭（家庭分野）

観 点	着 眼 点
<p>1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫</p>	<p>(1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活や社会の中から問題を見いだして、解決策を構想し、実践を評価・改善する学習等、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <p>(2) 衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために、言葉や図表、概念などを用いて考えたり、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したりする学習活動の充実など、言語能力の育成を図るための工夫</p> <p>(3) コンピュータや情報通信ネットワークを活用して、実習等における情報の収集・整理や、実践結果の発表等の学習活動の充実を図るための工夫</p> <p>(4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返り、自己の成長を感じたり、学んだことをもとに自らの生活に生かしたりすることができるような工夫</p> <p>(5) 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫</p> <p>(6) 生徒の興味・関心を生かし自主的、自発的な学習を促すための工夫</p> <p>(7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫</p>
<p>2 使用上の便宜</p>	<p>(1) 内容別配当の分量</p> <p>(2) 教材・資料等の分量</p> <p>(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等</p>
<p>3 その他</p>	<p>今日的な課題への配慮や工夫</p>

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編の導入では、関連する見方・考え方をキーワードで示し、生徒が多角的な視点から考えたり、判断し決定したり、学習が深まるよう工夫されている。 「考えてみよう」や「調べてみよう」などの活動を数多く取り上げたり、各節の終わりに自らの学習を振り返る発問を設定したり、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P29、P50 等)</p> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編の終わりに、学習内容に対する興味・関心や自分なりの課題を記述する欄を設け、生徒が学んだ知識や技能を生活に生かせるよう工夫されている。 学習内容等の関連がわかるように、実践例や発表例を示したり、レポート例やプレゼンテーションの事例を掲示したり、生徒の言語活動を促して表現力が育まれるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P165、P276～281 等)</p> <p>●着眼点(3)について</p> <p>生徒がより主体的に学習に取り組めるように、場面に応じた動画やWEB サイトや思考ツールなどのデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。</p> <p>〔例〕 (P63 等)</p>	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各節の始めに「目標」「レッズスタート」「学習課題」を掲げ、生徒が見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。 各節の終わりに「生活に生かそう」「まとめよう」を設け、生徒が自分なりに学習を振り返り、次の学習や自分の生活につなげられるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P30～31、P118～119 等)</p> <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編では、家族や家庭、地域での学習が充実するよう家族・家庭生活の基本的な機能とのつながりをキーワードで示し、生徒が衣食住や消費生活、環境などの学習と関連させながら学べるよう工夫されている。 学習内容に応じて、社会で活躍する人を紹介し、生徒の興味・関心を引き出すとともに、社会とのつながりについて考えられるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P29、P37 等)</p> <p>●着眼点(6)について</p> <p>学習の導入として、生徒が自らの生活を振り返って課題を発見するための発問を掲示したり、生徒の興味・関心に応じた幅広い難易度の実習題材を設けたり、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>〔例〕 (P32、P90～97 等)</p> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒頭に「ガイダンス」を設け、生徒が小学校での学習内容やこれまでの自分の生活を振り返ることができるよう工夫されている。 随所に「他教科リンク」マークや「小学校リンク」マークを付して、他教科や小学校との学習内容の関連を図り、教科横断的に学習を進められるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P12～19、P29～31 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
6 教図	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「話し合ってみよう」や「体験してみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークを数多く掲載し、実感を伴った学びになるよう工夫されている。 ・「学びを生かそう」や「生活と課題の実践」のページでは、見方・考え方の視点に沿って学んだ知識や技能を振り返り、自分なりに考えたことを生活の改善や次の課題へつなげられるよう工夫されている。 〔例〕 (P20～21、P32～33 等) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各節では、学習を通して身につけたことや感じたことを自分の言葉でまとめられるよう「私の学び」を設けたり、学習に主体的・対話的に取り組めるよう「考えてみよう」「調べてみよう」「発表してみよう」などの活動を掲載したり、生徒の思考力・判断力・表現力等が育まれるよう工夫されている。 ・各章の終わりの「学習のふり返し」では、生徒が学習を振り返って考えたことを自分の言葉でまとめられる発問を掲示し、言語活動の充実と主体的に学習に取り組む態度が養われるよう工夫されている。 〔例〕 (P30～31、P34 等) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の基礎的な知識・技能の習得を補えるように、学習を補うための動画やWEBサイト、主体的に学べるオリジナルワークなどのデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P19 等) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップに沿って進められるよう掲示することにより、生徒が課題解決に向けて見通しをもって取り組めるよう工夫されている。 ・実習題材の基本の作り方をもとに、生徒一人一人が工夫を加えることができるような例や資料を示し、生活を工夫し創造する力が育まれるよう工夫されている。 〔例〕 (P32～33、P116～117 等) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣食住などに関する実践的・体験的な活動例を数多く掲載し、生徒が活動を通して知識や技能を身につけられるよう工夫されている。 ・家庭分野の学びと関わる、さまざまな分野で活躍する人からのメッセージを掲載することにより、職業と生活との関連性について考えられるよう工夫されている。 〔例〕 (P58～63、P69 等) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を引く写真やイラストを掲載し、生徒の理解を補えるよう配慮されている。また、各学習の導入の「見つけてみよう」では、日常生活の中で感じる疑問や共感、驚きを取り上げ、生徒が自らの生活を見つめ考えられるよう工夫されている。 〔例〕 (P16～19、P38～43 等) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「ガイダンス」を設け、生徒が小学校での学習内容を振り返り、中学校での学習に見通しをもって取り組めるよう工夫されている。 ・随所に他教科や小学校の学習等との関連を示す「関連」マークを付して、幅広い知識を身につけることができるよう配慮されている。 〔例〕 (P1～7、P74 等)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
9 開隆堂	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協力・協働」「安全・快適・健康」など、生活の見方・考え方の視点を巻頭で示すとともに、学習のまとまりごとに見通しをもち、生活の中から自分の興味・関心・疑問を書き出す課題や「話し合ってみよう」などの実践的な課題を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・各項目の導入では、生徒の身近な話題を用いることにより、家庭分野の学習に興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P6～7、P22～23 等)</p> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動の中で、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動など、さまざまな言語活動ができるよう学習内容を設定し、生徒同士や家族・身近な人たちとの会話などを通して考えを明確にするなど、生徒自らの考えを広げて深められるよう工夫されている。 ・観察や実習の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表などの場面を学習過程の各所に設け、生徒が学んだ知識や技能を生かせるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P34～35、P115 等)</p> <p>●着眼点(3)について</p> <p>生徒がより主体的に学習に取り組めるように、学習を補うための動画やWEBサイト、学習カードなどのデジタルコンテンツを活用できる二次元コードが配置されている。</p> <p>〔例〕 (P19 等)</p>	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入、基礎・基本の学習、実践的な課題、振り返りの展開で構成されており、生徒が家庭生活・地域・社会に関心をもち、さまざまな課題を自分と関連づけて考えられるよう工夫されている。 ・学習のまとまりごとに「学習のまとめ」を設け、学習の自己評価、身についた知識や技能などを生活に生かすことができるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P2～3、P86～87 等)</p> <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心が地域に向き、地域の人々との関わりの大切さを理解できるよう具体例や題材を示すことにより、地域における生徒の生活と関連づけた学習ができるよう工夫されている。 ・学習内容と密接につながる職種で働いている人へのインタビュー記事を掲載することにより、生活がさまざまな職業・人によって成り立っていることを理解できるよう工夫されている。 <p>〔例〕 (P76～81、P85 等)</p> <p>●着眼点(6)について</p> <p>学習案内人の会話を通して、生徒自らの経験を踏まえて問題に気づけるよう配慮されている。また、生活の中から考えたり、実践したりする課題を設け、主体的に学習を進めたり、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>〔例〕 (P24、P188 等)</p> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「ガイダンス」を設け、生徒が小学校での学習内容を振り返ることで、小学校や他教科との関連に気づくことができるよう工夫されている。 ・他教科や小学校の学習等との関連を示す「他教科との関連」マーク「小学校との関連」マークを付して、具体的事例や関連する写真などを掲載し、理解しやすいよう配慮されている。 <p>〔例〕 (P2～15、P23 等)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	(1) 内容別配当の分量 (ページ数)							(2) 教材・資料等の分量								
		ガイダンス	家族と家庭生活	日常食と調理の基礎	快適な衣生活	快適な住まい	消費生活と環境	その他	使用されるマーク数					二次元コードの数	発展的な学習の題材数	書き込み欄の数	三重県に関わる記述等
									安全	衛生	環境	防災	伝統文化				
2 東書	300	8	56	88	50	24	26	48	15	9	47	13	32	142	9	26	1
6 教図	306	8	56	90	46	24	44	38	22	19	11	5	8	73	6	27	2
9 開隆堂	316	14	72	94	50	30	30	26	15	18	9	4	12	90	8	31	1

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA B版で、表紙には防水加工が施されている。本文用紙は、強度を保ち且つ軽量化された再生紙が使用され、さらに植物油インキの使用や「グリーンプリンティング認定工場」での印刷など、環境に配慮した造りが採用されている。 基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などが全見開きの同じ位置に配置され、学習の流れがつかみやすいよう配慮されている。また、デジタルコンテンツでは、献立作成や衣服の購入の基準を考えるなど、個人が思考し、学習意欲の向上につながるよう工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されており、色覚の多様性に配慮した配色が行われている。
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA 4変型版で、表紙には防水加工が施され、長期の使用に耐えることができるように製本されている。また、再生紙や植物性インキが使用され、環境に配慮されている。 A・B・Cの分野ごと、または単元ごとに「自立度チェック」「ふり返る」「私の学び」が掲載され、生徒が学習前後の自分の学習状況について比較することができるよう構成が工夫されている。また、巻末の「生活と実践」では、領域別に色分けし、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップに沿って進められるよう構成が工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントの使用やカラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさはA B版で、表紙には防水加工が施されている。本文用紙は、裏うつりしにくい紙が使用されている。また、環境に配慮し、再生紙や植物性インキが使用されている。 各内容が「章(節→項目)→学習のまとめ」で構成され、調理・製作の実習手順については横流れで展開されるなど、構成が工夫されている。また、実習例の「調査方法Q&A」では、科学的根拠に基づいた知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントが使用され、デザインや配色はカラーユニバーサルの視点から色覚の個人差を問わず、見やすくなるよう配慮されている。

3 その他

今日的な課題への配慮や工夫	
2 東書	<p>【安全・衛生教育】〔例〕(P8～9, 64～65, 135～136)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、実習前、実習中、実習後における注意事項を示し、安全に対する意識を高めてから実習に取り組めるよう工夫されている。 ・実習や技能、触れ合い体験などにおける安全や衛生のポイントには「安全」マーク、「衛生」マークを付し、生徒の意識を高めるよう工夫されている。 <p>【キャリア教育】〔例〕(P37, 51, 63)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プロに聞く！」では、家庭分野の学習内容に関連する職業に就いている人たちからのメッセージを掲載し、生徒が多様な視点から将来について考え学び、職業観や勤労観を育めるよう工夫されている。 <p>【消費者教育】〔例〕(P200～203, 214)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルなどの事例を取り上げたり、消費行動が社会づくりに結びつくことを、「買い物は投票」という例えでわかりやすく示したり、消費者としての自覚と必要な知識が身に付き、行動に結びつくよう工夫されている。
6 教育図書	<p>【安全・衛生教育】〔例〕(P12～13, 101, 111)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「実習は安全に取り組もう！」を設け、実習時の服装や取り組み方について注意点を挙げ、安全面や衛生面を意識して実習に取り組めるよう工夫されている。 ・調理実習や製作実習では、事故防止や衛生のために気をつけるべき点に「安全」マーク、「衛生」マークを付し、生徒が注意しながら実習に取り組めるよう工夫されている。 <p>【キャリア教育】〔例〕(P35, 69, 151)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「センパイに聞こう！」では、家庭分野に関連するさまざまな現場で仕事をする人たちからのメッセージを掲載することで、生徒が将来社会で活躍する自分の姿を想像し、職業観を深められるよう工夫されている。 <p>【消費者教育】〔例〕(P195, 200～209)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活を振り返りながら消費者トラブルの事例を取り上げ、生徒が身近な事柄として捉え、消費者としての知識を身に付けるとともに、自分ができることについて考えられるよう工夫されている。クーリング・オフ制度などの具体例やクレジットカードの仕組み等を大きく図で示し、理解しやすいよう配慮されている。
9 開隆堂	<p>【安全・衛生教育】〔例〕(P14～15, 118～119, 197)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「楽しく安全に実習しよう」を設け、実習上の安全と衛生について配慮すべき点を解説し、意識して実習に取り組めるよう工夫されている。 ・調理実習・製作実習等の際の安全について基本的事項としてまとめ、各題材の適する場所に配置されているとともに、「安全」マークを付して生徒が注意しながら実習に取り組めるよう工夫されている。また、幼児とのかかわり方など保育実習での配慮もされている。 <p>【キャリア教育】〔例〕(P85, 171, 229)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先輩からのエール」では、学習内容に関連した多種多様な職種で働いている人たちへのインタビューを掲載し、進路のヒントやキャリア教育につながるよう工夫されている。 <p>【消費者教育】〔例〕(P264～265, 274～277)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の具体例を示し、消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるよう構成が工夫されている。